

イノシシの特徴と対策

編集：京都府農林水産技術センター農林センター
発行：平成22年(2010年)3月



目

- 鼻は良いが、まず目で確認する

性格

- 臆病
- ねばり強い

生息地

- 本来、平地や低い山の生き物
- 隠れられる所が大好き
- 安全な時間帯(夜)は、山すそ、林縁部、農地周辺などに出没

鼻

- 嗅覚：かなり良い
- 鼻先の高さ：
普段 20~50cm
上を向いた時 80~100cm

繁殖

- 1年に1回4~5頭生む
- 1才から妊娠可能
(大人になるまでに半分は死ぬ)

食べ物

- 雑食性
- 野山の食物
筍、根、芋、木の実、草、虫 など
- 田畑の作物
イネ、小麦、ジャガイモ、サツマイモ、大豆、大根、白菜、キャベツ、牧草 など

身体能力

- 70kg以上の物を動かせる
- 2mの壁をよじ登る
- 高さ20cmのすき間をくぐり抜ける
- 120cmの高さを跳び越える

足跡



蹴爪痕は残らない事もある

◆イノシシを寄せない集落環境管理

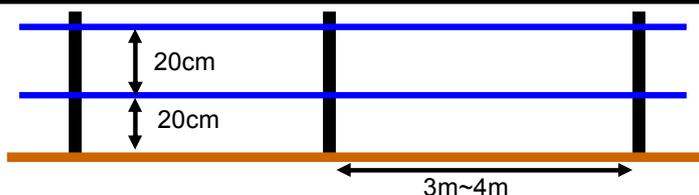
緩衝帯(バッファゾーン)の整備

(野生動物は基本的に臆病で人を恐れる生き物、農地に接する山林、耕作放棄地などを整備!!)

- ◆隠れ場所がなく見通しの良い農地へ侵入するときは警戒する。
- ◆見通しが良くなった場所は、すみかになりにくい。
- ◆野生動物は農地に侵入しにくくなる。
- ◆侵入されてもすぐ分かる。

【注意】・地域で管理できる面積を検討して整備する
・シカの生息地では、樹木を伐採しすぎない
(再生した草がシカの餌になる場合があります)

◆電気柵の設置例 (別刷 電気柵設置マニュアル参照)



- ◆イノシシの剛毛は電気を通しにくいので、鼻に当たるように意識して設置。
- ◆凹地もふくめ、下段の柵線は地面から20cmを保持
- ◆柵線は、支柱より獣側(外側)に設置
- ◆上から越えられそうな場所は、3段柵にする。
- ◆こまめな管理で、電圧は4000V以上を保持する。

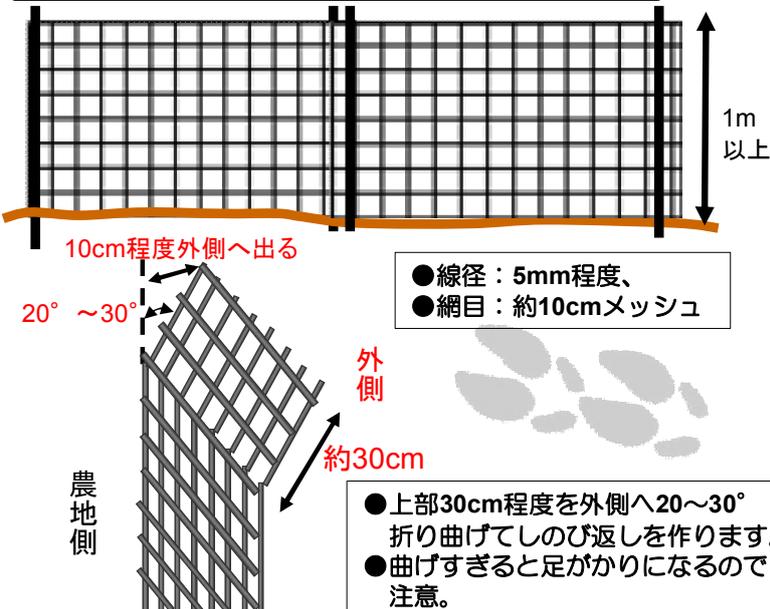
◆防除柵設置の注意

もぐり込み、持ち上げ、破壊に注意

- ◆地面がやわらかい所は支柱を入れる
- ◆穴、すき間をつくらない。
- ◆柵の下部はしっかり固定。
- ◆資材のつなぎ目をしっかり固定。
- ◆柵は定期的に点検・除草・補修。

◆ワイヤーメッシュの設置例

(別刷 ワイヤーメッシュ設置マニュアル参照)



- 線径：5mm程度、
- 網目：約10cmメッシュ

- 上部30cm程度を外側へ20~30°折り曲げてしのび返しを作ります。
- 曲げすぎると足がかりになるので注意。